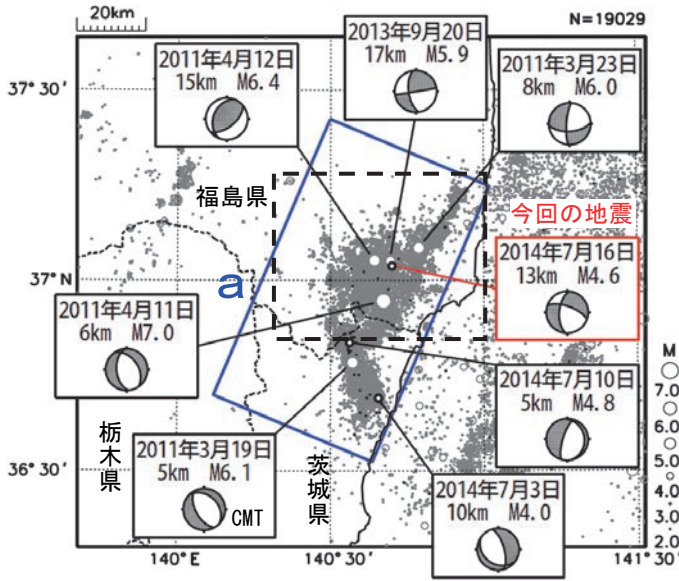
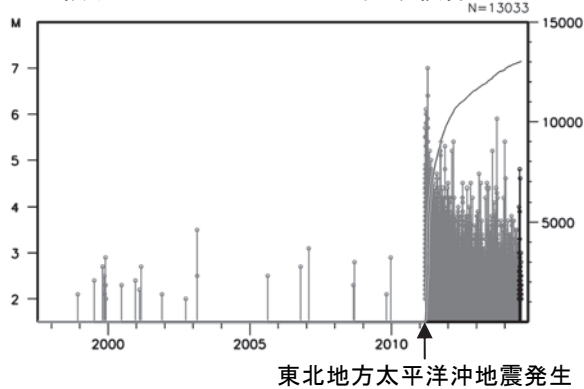


7 月 16 日 福島県浜通りの地震

震央分布図
 (1997 年 10 月 1 日～2014 年 7 月 31 日、
 深さ 0～30km、 $M \geq 2.0$)
 2014 年 7 月の地震を濃く表示



領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



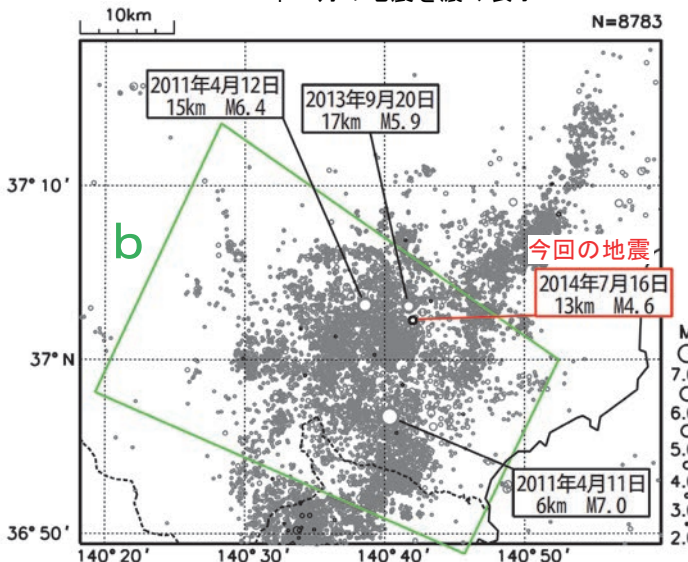
2014 年 7 月 16 日 17 時 24 分に福島県浜通りの深さ 13km で M4.6 の地震（最大震度 4）が発生した。この地震は地殻内で発生したもので、発震機構は北北西－南南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

福島県浜通りから茨城県北部にかけての地殻内（領域 a）では、「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の発生後に地震活動が活発化した。その活動は、全体として低下してきているものの、2011 年以前に比べて活発な状況が継続している。

今回の地震の震央付近（領域 b）では、東北地方太平洋沖地震の発生以降、M4.0 以上の地震がしばしば発生しており、2011 年 4 月 11 日には M7.0 の地震（最大震度 6 弱）が発生している。また、最近では、今回の地震の震源近くで、2013 年 9 月 20 日に M5.9 の地震（最大震度 5 強）が発生し、負傷者 2 人、住家一部破損 2 棟の被害を生じている（被害は総務省消防庁による）。

なお、領域 a 内の地震の発震機構は、正断層型が多いが、領域 b 内では深さ 13km から 20km 程度の比較的深い所を中心に逆断層型や横ずれ断層型も見られる。

上図の破線矩形内の震央分布図
 (2011 年 3 月 1 日～2014 年 7 月 31 日、
 深さ 0～30km、 $M \geq 2.0$)
 2014 年 7 月の地震を濃く表示



領域 b 内の M-T 図及び回数積算図

